

特定外来生物（植物）の駆除について

特定外来生物とは、生態系などに被害を及ぼすものとして環境省により指定された生物です。

これらの生物を飼育、栽培、保管、運搬、販売、譲渡、輸入、屋外に放つことなどは禁止されており、違反すると罰金、懲役などの罰則があります。

横須賀市内にも以下の特定外来の植物が生息しています。これ以上生息範囲を広げないように、正しく理解して処理をしましょう。

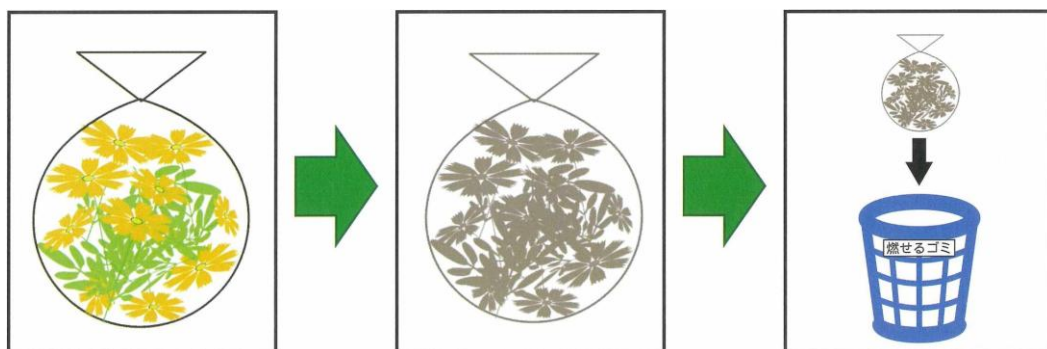
◎いずれの植物にも共通する駆除方法

根から抜き取り、ビニール袋に入れて密封して枯れさせてから、ゴミとして出してください。

※移動中に種子や茎が落ちて、生息を拡大させるおそれがあるため、生きたまま移動させることは法律で禁止されています。



多年生植物が多いので、駆除できるまで毎年行う。



学校内や自宅の庭の特定外来の植物を駆除するときは特に許可は必要ありませんが、団体で駆除をするときは申請が必要な場合がありますので、下記問い合わせ先にご相談ください。

市内で見られる特定外来生物（植物）

陸地で見られるもの

※写真は環境省HPより



オオキンケイギク

- ・ 開花時期 5～7月
- ・ 駆除方法 根ごと引き抜く（種が飛び散らないようにする）



オオハンゴンソウ

- ・ 開花時期 7～10月
- ・ 駆除方法 結実前（8月下旬頃まで）に根ごと引き抜く



アレチウリ

- ・ 開花時期 8～10月
- ・ 駆除方法 結実前（9月上旬頃まで）に根ごと引き抜く

水辺で見られるもの



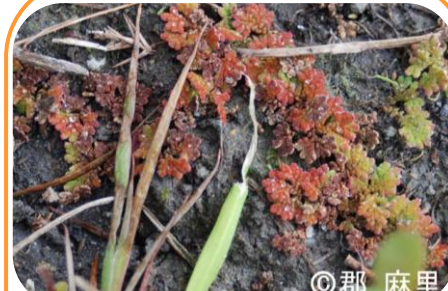
ナガエツルノゲイトウ

- ・ 開花時期 4月～10月（1年中開花することもあり）
- ・ 駆除方法 根を残さないように根ごと引き抜く（日本に侵入しているものは種子を付けない）



オオフサモ

- ・ 開花時期 6月
- ・ 駆除方法 根ごと引き抜く。地上部が弱っている冬季の駆除が効果的。準絶滅危惧種のタチモに類似



アズラ・クリスタタ

- ・ 花は咲かない
- ・ 見つけたらすぐに駆除（掬い取り）、冬季の駆除が効果的。絶滅危惧種のオオアカウキクサに類似



オオカワヂシャ

- ・ 開花時期 4～5月、9月
- ・ 駆除方法 花期の4～5月が判別しやすい、種が小さく拡散するため結実後（開花後）は駆除を控える。準絶滅危惧種のカワヂシャに類似

それぞれ似ている植物があります。
見分け方は環境省の「特定外来生物の同定マニュアル」を参考にしてください。

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual.html>